

## 教員詳細情報

九州看護福祉大学

氏名	竹中 健
連絡先メールアドレス	ken@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	教授
所属	看護福祉学部 社会福祉学科
略歴	<p>[学歴]</p> <p>東京外国語大学 欧米第一課程 ドイツ語専攻卒業          北海道大学大学院 文学研究科 行動科学専攻 修士課程修了          北海道大学大学院 文学研究科 人間システム科学専攻 博士課程修了</p> <p>[職歴]</p> <p>北海道大学 文学研究科 専門研究員          広島国際学院大学 情報文化学部 現代社会学科 専任講師          九州看護福祉大学 看護福祉学部 社会福祉学科 教授          九州看護福祉大学大学院 看護福祉学研究科 精神保健学専攻 教授</p>
取得学位	博士（文学）（北海道大学）
担当科目	<p>【学部】</p> <p>医療福祉論          地域福祉論Ⅰ・Ⅱ          地域社会論          社会調査法          社会調査演習／実習          ドイツ語Ⅰ・Ⅱ          社会福祉特別演習Ⅰ・Ⅱ（ゼミナール）          卒業研究論文</p> <p>【大学院】</p> <p>現代社会病理論          社会精神保健学特論          社会精神保健学演習          社会精神保健学研究          質的研究方法論          ソーシャルネットワーク論</p>
専門分野	社会福祉論・福祉社会学・医療社会学・地域社会学
所属学会	<p>ISA (International Sociological Association)          BSA (British Sociological Association)          NCVO (National Council for Voluntary Organisations)          VSSN (Voluntary Sector Studies Network)          EASN (East Asian Sociological Network)          EASA (East Asian Sociological Association)</p>

	<p>日本社会福祉学会          日本社会学会          日本保健医療社会学会          日本社会学理論学会          関東社会学会          北海道社会学会          東北社会学会</p>
現在の研究テーマ	<p>1. ボランティア行為の定着および展開のための日独英加比較研究          2. 医療と福祉のボランティア：病める人・死にゆく人と寄り添う人の社会学          Sociology of the Better Dying          3. 介護の社会化：介護者および被介護者の意味世界と生活世界          4. ジェンダー・マイノリティとジェンダー・マジョリティ：語りの交差</p>
<p>教育研究業績          (著書・学術論文等)</p>	<p>(著書)</p> <p>1. 「ボランティア組織の独立性・自律性と継続可能性の考察」(単著) 2011年          北海道大学(博士論文)</p> <p>2. 「マイノリティのアイデンティティと他者」2011年, 田村・細谷編著『大学生と語る性——インタビューから浮かび上がる現代セクシュアリティ』, 晃洋書房, [全文217頁中、担当：第Ⅱ部「大学生の語りを受けて」195頁-217頁]</p> <p>3. 「なぜスポーツクラブに通うのか——不健康というラベルに抗う人びとの調査から」2012年, 井上芳保編著『健康不安と過剰医療の時代』, 長崎出版, [全文300頁中、担当：第8章：265頁-300頁]</p> <p>4. 『ボランティアへのまなざし——病院ボランティア組織の展開可能性』(単著) 2013年, 晃洋書房</p> <p>5. 「政治・社会運動」2014年, 櫻井他編著『アンビシャス 社会学』北海道大学出版会[全文300頁中担当：第5章「政治・社会運動」79頁-100頁]</p>
<p>教育研究業績          (著書・学術論文等)</p>	<p>(学術論文)</p> <p>1 「従属のなかの自律——病院ボランティアの対抗」(単著) 2006年, 『現代社会学研究』19号, 北海道社会学会 [査読有]</p> <p>2 「ボランティアというハビトゥス——札幌市の病院ボランティアの事例から」(単著) 2006年, 『西日本社会学会年報』5号, 西日本社会学会 [査読有]</p> <p>3 「病院ボランティア組織の展開可能性」(単著) 2010年, 『現代社会学研究』23号, 北海道社会学会 [査読有]</p> <p>4 “Why Japan’s Hospital Volunteer Program Has Failed: Civil Society or Mobilization?” (単著) 2014年, "Bulletin of Hiroshima Kokusai Gakuin University" Vol47 [査読有]</p> <p>5 「ケアワークとボランティア：ケアにかかわる領域はどのように専門職化するのか？」(単著) 2015年, 『広島国際学院大学研究報告』第47巻 [査読有]</p>

	<p>有]</p> <p>(報告書等)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「野幌のお神楽と生活——なぜ野幌の人びとは太々神楽を残そうとするのか」,2002年,中澤・高橋編著『野幌とはどのような場所か——その生活史と地区形成』(分担執筆: pp.49-53), 札幌学院大学社会情報学部</li> <li>2 「病院ボランティアと生涯学習——動員か? 自発か? 導かれたボランティアの行方」,2003年,小林甫研究代表,『変革期における《ライフロング・ラーニング》の社会的意味と社会的役割』平成12~14年度科学研究費補助金基盤研究(A)(1)研究成果報告書</li> <li>3 『大麻地区商店街の形成と課題』,2006年,石井・工藤・竹中編(分担執筆), 札幌学院大学社会情報学部</li> <li>4 「井仁の歴史とくらし: 地域のくらしは、誰がどのように守るのか?」,2015年,『井仁棚田から眺めると』(分担執筆), 広島国際学院大学 情報文化学部 現代社会学科</li> <li>5 「誰が棚田を守るのか?」,2016年,『安芸太田を歩く』(分担執筆), 広島国際学院大学 情報文化学部 現代社会学科</li> <li>6 「棚田のある未来」,2017年,『安芸太田を知る』(分担執筆), 広島国際学院大学 情報文化学部 現代社会学科</li> <li>7 書評「井上芳保著『犠牲になる少女たち——子宮頸がんワクチン接種被害者の闇を追う』」,2018年,『現代社会学研究』,北海道社会学会,37-43頁</li> </ol>
<p>社会活動・社会貢献</p>	<p>市立札幌病院 ボランティア (2002年~2014年)</p> <p>東北社会学会 選挙管理委員 (2010年7月~8月)</p> <p>日本保健医療社会学会 査読担当 (2015年~2016年)</p> <p>国際交流委員会 (2017年~現在)</p> <p>日本社会学理論学会 査読担当 (2016年~2017年)</p> <p>日本社会福祉学会 査読担当 (2017年)</p> <p>北海道社会学会 査読担当 (2017年~2018年)</p>